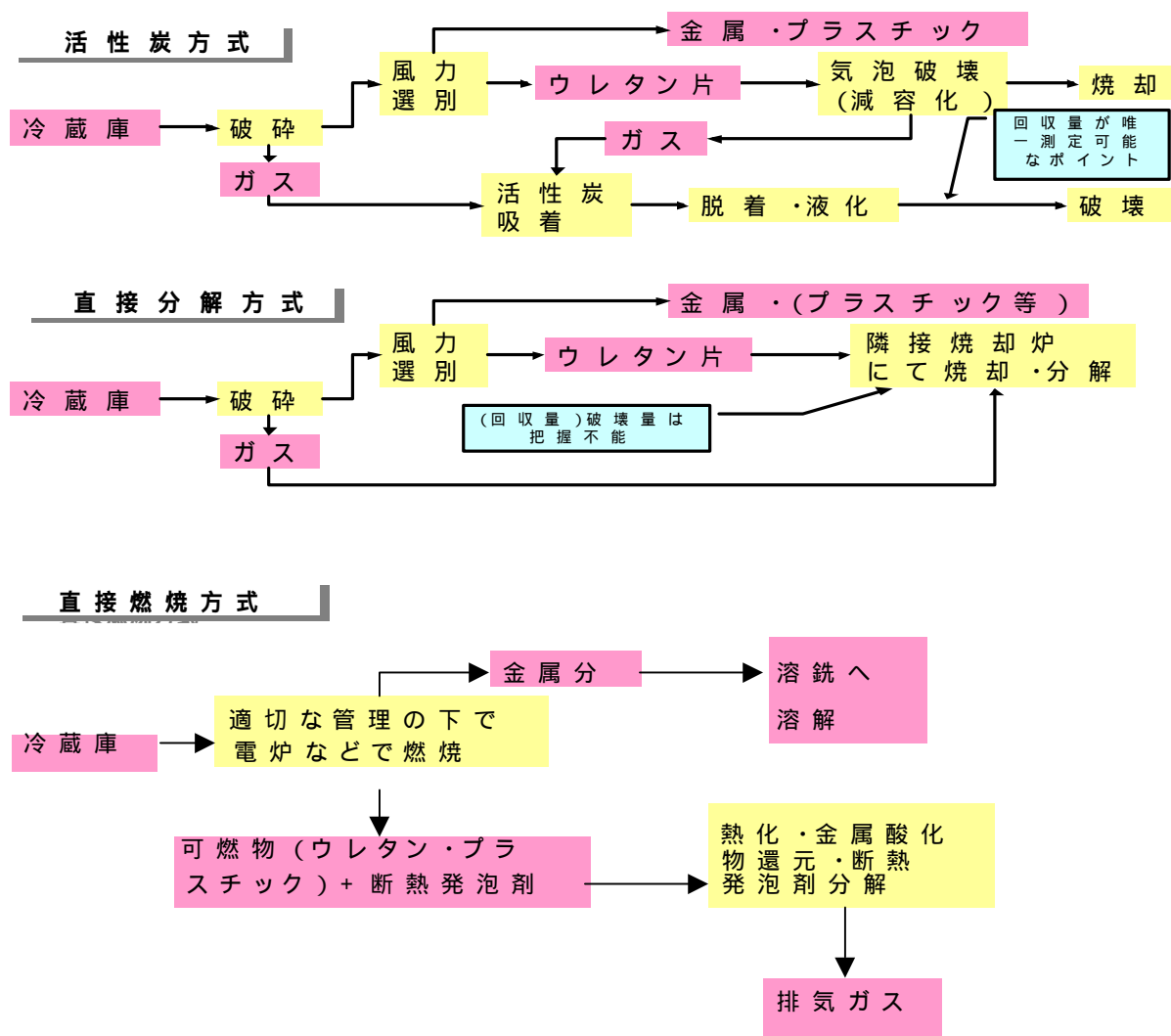


冷蔵庫断熱材フロン回収方式について

冷蔵庫断熱材フロンは無害化方式は、現在以下の3方式が考えられる。

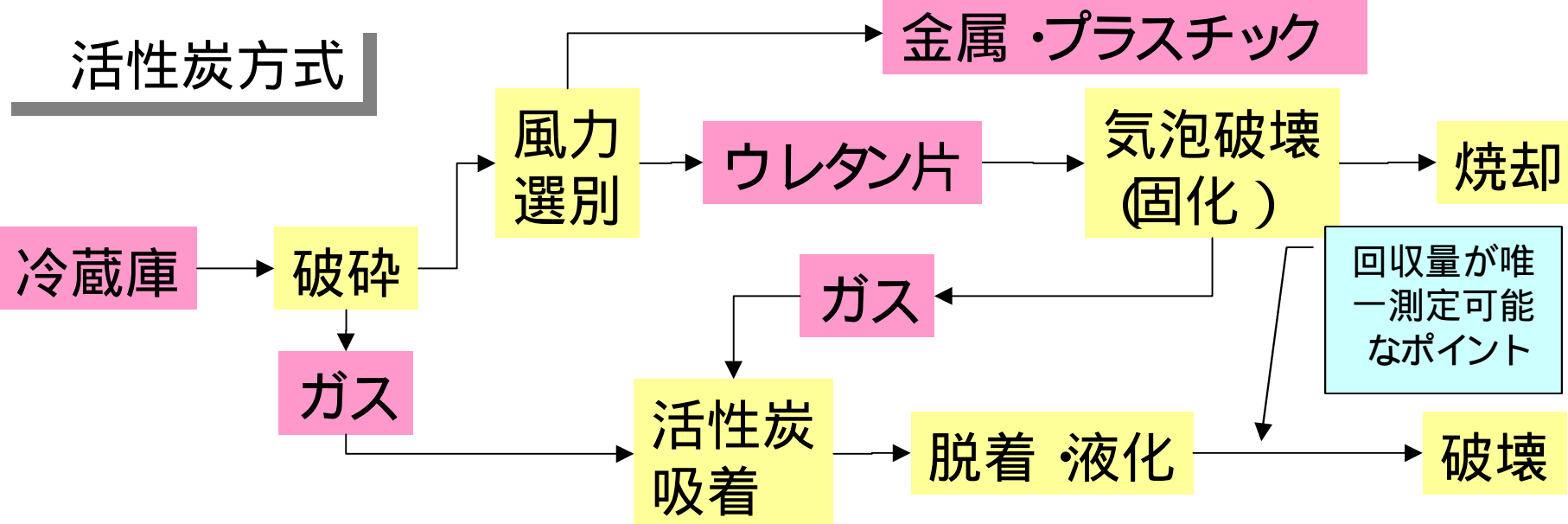
| 方式     | 工程の概要   |
|--------|---|
| 活性炭方式  | <ul style="list-style-type: none"> <li>冷蔵庫をチャンバ-内で破碎、破砕片から飛散するフロンガスを活性炭で吸着、吸着量が飽和に達した段階で、この活性炭を昇温しフロンを脱着、この脱着ガスを凝縮・液化し、ドラム缶に回収、その後、破壊処理に廻す。</li> <li>ウレタン破砕片は、減容化し焼却に廻す。</li> </ul> |
| 直接分解方式 | <ul style="list-style-type: none"> <li>冷蔵庫を密閉チャンバ-内で破碎、破砕片から飛散するフロンガスを、隣接の焼却炉に送り込み、燃焼・分解する。</li> <li>ウレタン破砕片は焼却に廻す。</li> </ul>  |
| 直接燃焼方式 | <ul style="list-style-type: none"> <li>冷蔵庫を直接電炉などで燃焼させ、同時にフロンガスも燃焼・分解させる。</li> </ul>  |

これら方式のいずれによっても、リサイクルプラントに戻った廃冷蔵庫の断熱フロンのほぼ全量(100%)が無害化されている。なお、フロン重量がカウントできるのは、活性炭方式のガス液化分のみであって、この量は無害化処理されるフロンの一部である。

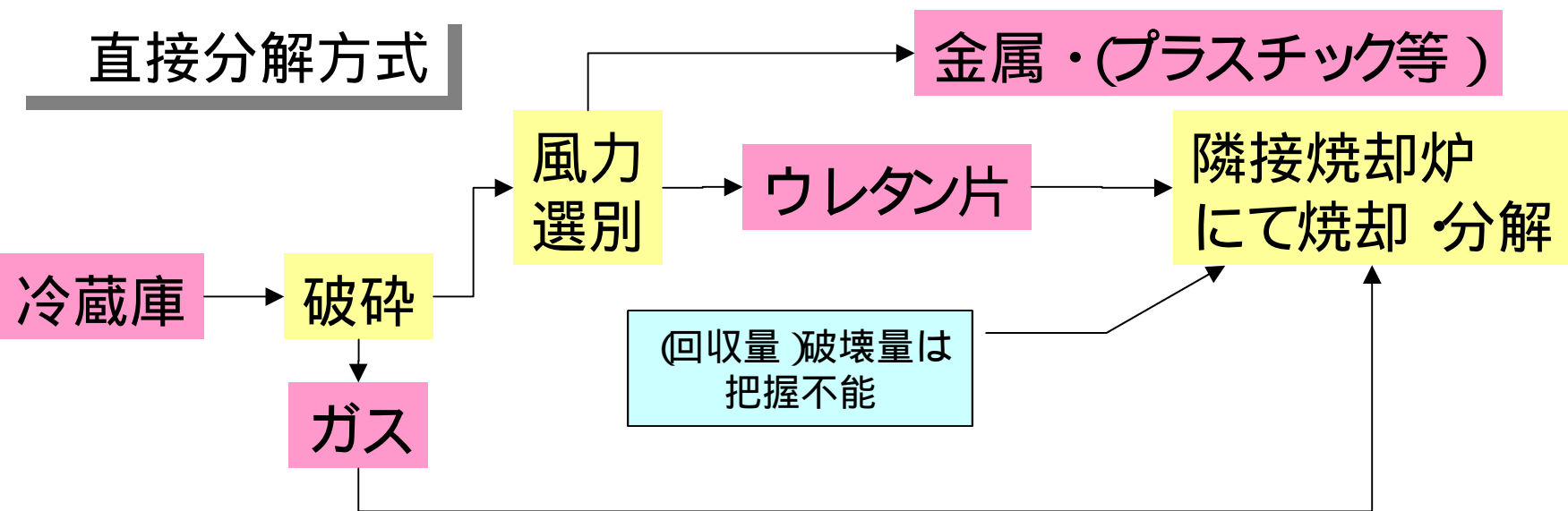


(注)上記 ~ のいずれの方式においても、破碎又は燃焼の前に冷媒フロンの回収を含む前処理が行われる。

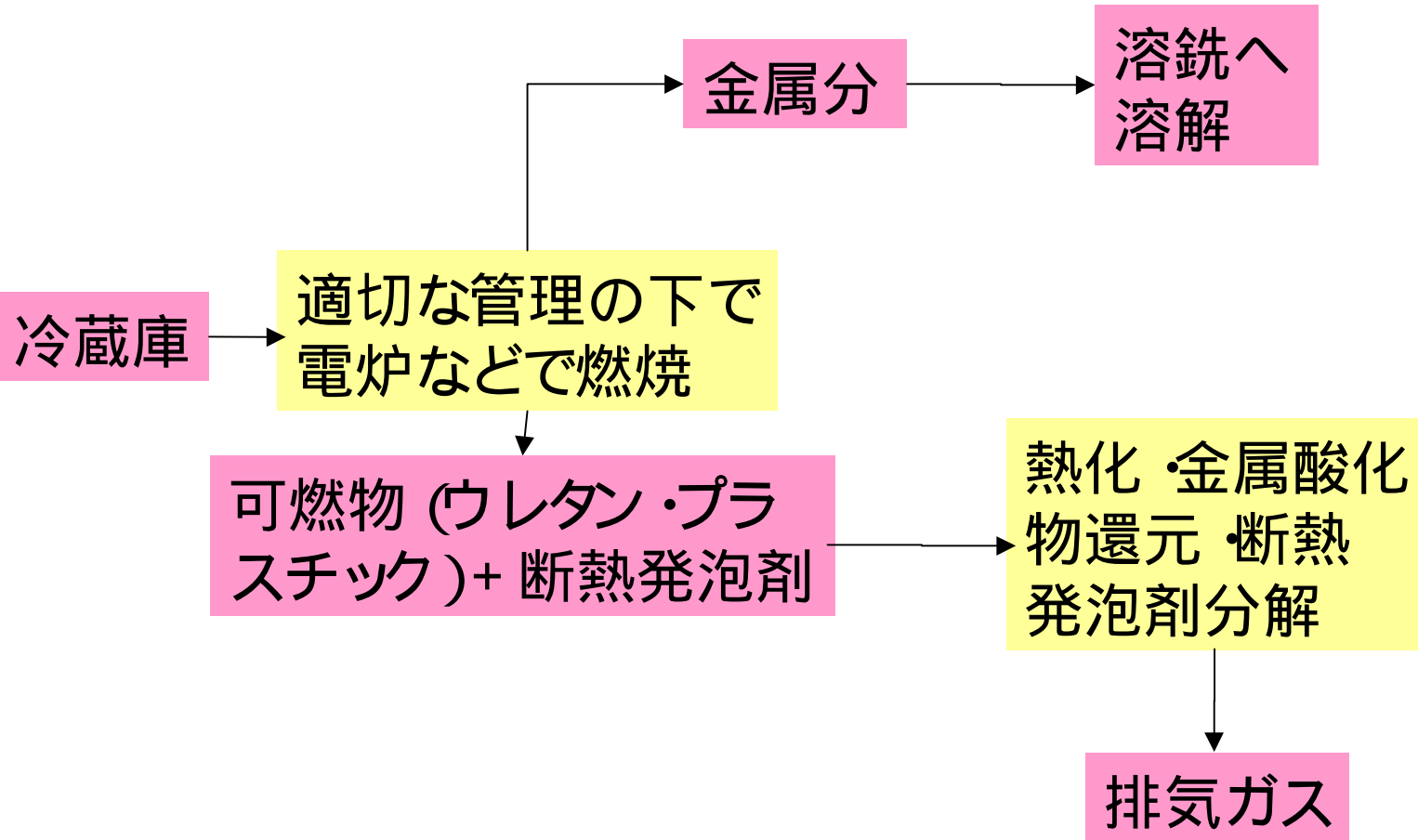
## 活性炭方式



## 直接分解方式



# 直接燃焼方式



(注)上記 ~ のいずれの方式においても、破砕又は燃焼の前に冷媒フロン回収を含む前処理が行われる。